

「やったっ!」

この場所でおもしろいことを。

敷かれたレール

じゃない方をゆく。

最近、古い建物をリノベーションした店がはやってる。たとえば浜松なら、田町の交差点にある「かぎやビル」とか。実はそのリノベーションを手掛けたのが〈ダジバ〉の建築家3人組。3人は大学時代の同級生だ。

message
おもしろいと感じることに一生懸命取り組む。必ずぶつかる面倒なことに、正面から向き合える自分をつくっておくことが大事な。[辻]

鍵屋の基礎 / The Base of Kagiya
通りに面した場所に、服などをリメイクする工房を作った。かぎやビル1階にあるセレクトショップ (SHHH)。

〈ダジバ〉の3人は横浜国立大学代から一緒に建築について議論したり、グループで課題に取り組んだりしていた。そして大学院修了後の2011年に現在の設計事務所を開いた。

「大企業に勤める気はなくて、就職するならどこかの設計事務所かなと思ってた。だから、卒業していきなり事務所を開いたのも、別に特別なことじゃなかった」と口をそろえる。「ダジバ」は3人の呼び名の一字を組み合わせたもの。事務所を設立以来、空きスペースのリノベーションや住宅の新築などを手掛け、国際的な賞も受賞した。

替えていくのがおもしろいですね」と橋本さん。

始まりは浜松。ずっと浜松

浜松は辻さんにとっては地元だけでなく、あとの2人には縁も所縁もない。なぜ浜松を選んだのかを聞いてみた。「都会過ぎず、田舎過ぎず、ちょうどいいから。まちに多面性があるって、独創的なことに取り組んでいる人とかすぐ知り合えるのもいいところ。まちの人や仕事で関わる職人さんたちも、「何だかおもしろい3人組がやってきた」みたいな感じで、いろいろと面倒を見てくれます」と彌田さん。

議論はするけどケンカはしない

大学時代の同級生と一緒に起業するなんて何だか楽しそうだけど、もめることもあるのでは……との問いに、「いや、議論はするけどケンカ



ヨンマルサンアーキテクチャー [ダジバ]
403architecture [dajiba]

【やっていること】店舗や住宅のリノベーションや新築の設計、工場のブランディング、プロダクトデザインなど。浜松をベースにして、建築的な考えを基にチームで活動する。



彌田 徹さん(左)

やだ とおる
■1985年生まれ ■大分県出身 ■茨城県立龍ヶ崎第一高校卒 ■横浜国立大学工学部建設学科建築コースを卒業後、筑波大学大学院芸術専攻具島研究室を修了。現在、静岡理科大学非常勤講師も務める。■高校時代はサッカー部の副キャプテンを務めた。■性格的な特徴は、他の2人いわく「発想が変」なところ。



辻 琢磨さん(中央)

つじ たくま
■1986年生まれ ■浜松市出身 ■浜松北高校卒 ■横浜国立大学工学部建設学科建築コースを卒業後、同学の大学院建築都市スクールY-GSAを修了。現在、大阪市立大学などの非常勤講師も務める。■高校時代を一言でいうなら「彼女に振り回された青春時代」。■性格はナイーブ

橋本健史さん(右)

はしもと たけし
■1984年生まれ ■兵庫県出身 ■国立明石工業高等専門学校卒 ■横浜国立大学大学院建築都市スクールY-GSA修了。現在、名城大学の非常勤講師も務める。■高校時代の趣味は設計とバンド活動。■性格は穏やかでマイペース。3人の中で一番頑固。■暮らしの拠点は東京



三展の格子 / The Grid of Santen
美容室 (enn)。店長の林さんとは事務所を開業する前からの付き合い。ロフトを解体した廃材を再利用し、板を斜めに並べて休憩所を設計した。



最初はまちの人とのつながりから始まった。徒歩10分圏内に、手掛けた複数のプロジェクトが点在する。

